

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 八百津高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月11日(木) 15:30~17:00
- 3 開催場所 八百津高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	服部 孝義	八百津中学校校長
副会長	白木 誠	錦津コミュニティセンター館長
委員	元田 美穂	八百津東部中学校校長(欠席)
	河村 浩之	錦津小学校校長(欠席)
	佐藤 敏則	八百津町教育長職務代理者
	武市 由紀子	八百津町教育相談アドバイザー
	林 善次	同窓会長
	岩井 伸悟	P T A会長
	粕谷 伊織	八百津高校卒業生代表
オブザーバー	金子 政則	八百津町長(欠席)
	社本 勝義	八百津町教育長(欠席)
	清水 直樹	教育長代理 主幹
	佐合 智尚	佐合食品専務(欠席)
学校側	野田 潤哉	校長
	小林 和豊	教頭
	井上 悟郎	学習支援部部长(教務主任)
	井戸 礼子	生徒支援部部长(生徒指導主事)
	吉井 賢吉	進路支援部部长(進路指導主事)
	貝川 友子	職員代表(記録)

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 令和8年度の学校運営計画等について

意見1: 現在、部活は何がありますか。

回答1: 運動部7つ、文科部1つのなかに4つの班があります。

意見2: 以前の学校と比べて今の学校はどうですか。

回答2: 現在は生徒と教師の距離が近く良いが、その分、生徒が教師に頼りすぎている面もあり、自立を促す関わり方が課題だと感じる。

意見3: 中高連携とふるさと教育は軸として依存するだけではなく、地区外への発信を強化する必要がある。特に、外部イベント等で生徒の頑張る姿を見てもらい、「通いたい」と思わせる魅力の可視化が重要である。

回答1：中高連携は、卒業後も見てもらえる安心感があり6年間支えられる点で重要である。  
一方で、生徒増加のためには地区外へのアプローチも併せて進めていく必要がある。

## (2) その他

意見1：制服変更の予定を早期に受験生へ周知し、八百津高校の魅力の一つとして積極的にPRしていきたい。

意見2：カヌーをはじめ、やりたいことに挑戦する生徒を支えるため、八百津町役場や地元企業とも連携し、民泊など受け入れ体制を整え、意欲を伸ばせる学校づくりが必要である。

意見3：外での評判が先行し、実態と違う印象を持たれている面がある。生徒はよく頑張っており、実際の姿を見てもらう機会づくりや、地域と連携した魅力発信の工夫が必要である。

意見4：生徒の実体験をもとに、「こう変わった」という具体例を伝え、自分も成長できると実感できる説明が重要である。また、「変わりたい」と思う生徒に響く発信を意識する必要がある。

意見5：入学生減少による誤った噂が広がっているため、学校の現状や今後について正確な情報を早急に発信し、「安心して通える学校」であることを積極的に伝える必要がある。

意見6：SNS、インスタ等での発信は重要であるが、内容の受け取り方に配慮し、教員が確認した上で正確で適切な情報発信を行うことが必要である。

意見7：中高連携校が県内に限られている強みを活かし、その価値を地元にしっかり伝え、子どもたちが「通いたい」と感じられる魅力発信をさらに強化していく必要がある。

## 6 会議のまとめ

- ・令和8年度の学校経営計画を踏まえた学校の運営方針に対して委員より承認が得られた。
- ・令和8年度の各分掌の方針と重点について、地域や保護者の代表として様々な視点から意見や具体的な提案が出された。
- ・今までの学校評議員委員会とは異なる性質をもつ運営協議会として、会の趣旨に沿った具体的な話し合いがなされた。これまでの歴史や伝統を大切にしつつも、時代の変化や社会の求めに応じた学校運営に取り組んでいきたい。
- ・今回のキーワードは「発信」であり、学校だけでなく、学校運営協議会も支える立場として、それぞれが主体的に魅力発信を担うことが重要である。